

## (2)小学校グループB

発表者 畑中 祥司 (尾鷲市立尾鷲小学校 教諭)

### 3) 防災教育を継続的に実践していくための仕組みづくりに求められること

地域とのつながりが大事だということ。市の教育委員会、県の教育委員会、そういったところとの連携を密にしてよりよいかたちの指導ができるようにということが挙げられました。それが防災教育を活性化していくことではないのかということ。また、定期的に学校開放・公開授業をし、保護者に一緒に参加してもらい、子どもたちが学ぶと同時に親御さんたちも一緒に学んでもらうこと。そういうことを定期的に行うことです。

#### 「1) これまでの防災教育の実施効果」

避難訓練は数多く行われますが、子どもたちが主体的に取り組む、動ける避難訓練を行うことが大事だと思います。避難訓練は、教師が責任を持って主導して子どもたちの命を守るということが当たり前なのですが、なかなか緊急時において、それが必ずしも100%できるとは限りません。高学年の子どもたちが主体的に避難できて、下級生をしっかりと確認して見ることができるという避難訓練もこれからは大事ではないかと思います。また、2～3年で終わるのではなく、責任をもって引き継ぐ仕組みをしっかりとすることも大事だと思います。

